

レベル判断に関する「指標」及び「事象」について（案）

▽ 国の例示に準拠し、下記のとおり設定する。

「新レベル分類」における レベル判断に関する「指標」及び「事象」		指標・事象の 把握方法	レベル判断の目安			
			レベル1 感染小康期	レベル2 感染拡大初期	レベル3 医療負荷拡大期	レベル4 医療機能不全期
指標	①確保病床利用率	県発表資料	概ね0-30%	概ね30-50%	概ね50%超	概ね80%超
	②重症病床用確保病床利用率	県発表資料	—	—	概ね50%超	概ね80%超
事象	保健医療の負荷の 状況に関する事象 <ul style="list-style-type: none"> ①発熱外来患者の増加 ②救急外来患者の増加 ③入院医療の負荷が増大 ④重点医療機関における 医療従事者の欠勤者の増加 ⑤自宅や施設内療養中の 死亡者の発生 	医療機関等からの 聞き取り	外来医療・入院医療 ともに負荷は小さい	<ul style="list-style-type: none"> ・診療・検査医療機 関（発熱外来）の 患者数が急増し負 荷が高まり始める ・救急外来の受診 者数が増加する ・病床利用率、医療 従事者の欠勤者数 が上昇傾向となる 	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱外来・救急外来 に多くの患者が殺到、 重症化リスクの高い者 がすぐに受診できない 状況が発生 ・救急搬送困難事案 が急増 ・入院患者が増加し、 医療従事者にも欠勤 者が多数発生し、入 院医療の負荷増大 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般外来にも患者が殺到 ・救急車を要請されても対応で きない状況が発生。外来医療 全体がひっ迫、機能不全 ・入院が必要な中等症・重症の 患者数の絶対数が著しく増加 ・多数の医療従事者の欠勤者 発生、入院医療がひっ迫する ・入院できずに自宅・施設内療 養中の死亡者が多数発生する ・通常診療を大きく制限せざるを 得ない状態
	社会経済活動の 状況に関する事象 <ul style="list-style-type: none"> ⑧職場等での 欠勤者の増加 	企業等からの 聞き取り 県・市町村職員 の欠勤状況	—	職場の欠勤者が増 加し、業務継続に支 障を生じる事業者が 出始める	職場で欠勤者が多数 発生し、業務継続が 困難になる事業者が 多数発生する	職場の欠勤者数が膨大になり 社会インフラの維持に支障が生 じる
	感染状況に 関する事象 <ul style="list-style-type: none"> ⑨感染者数の 増加 	県発表資料	感染者数は低位で推 移しているか、徐々に 増加している状態	感染者数が急速に 増え始める	医療の負荷を増大さ せるような数の感染者 が発生する	今冬の国の想定を 超える感染者が発生